

授業と評価の年間計画

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	
使用教科書(発行所)		高校生の音楽2 (教育芸術社)		
履修条件 対象生徒	選択 普通科 2年			
学習目標	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。			
学習方法	<p>【授業】 表現活動(歌唱、器楽、創作)、鑑賞の分野において、基礎的な知識・技能を習得する。 表現意図をもって歌唱、器楽、創作で音楽表現したり、価値を判断しながら、味わって聴いたりする力を伸ばしていく。</p> <p>【家庭、補習・その他】 授業時間内で完成できる課題がほとんどである。期限に間に合わない場合は家庭もしくは放課後を利用して課題を完成させる。</p>			
学習計画 と ねらい	<p>1 1学期 (1) 学期末考査まで ア 校歌  イ 歌唱(日本の歌曲)  ウ 音楽の歓び</p> <p>2 2学期 (1) 学期末考査まで ア 器楽  イ 合唱</p> <p>3 3学期 (1) 学年末考査まで ア 世界のさまざまな音楽  イ 創作</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年間の音楽の授業内容や、授業を受ける上での注意点などについて説明する。</li> <li>歌詞の意味を理解し、表現活動に必要な発声の基礎技術を身に付ける。</li> <li>日本や世界の歌、楽器の音色の特質や雰囲気を感じ取り、音楽の多様性を理解する。</li> <li>楽器の音色や特徴を生かすための技能を身に付ける。</li> <li>声をあわせることを生かした表現活動を心掛け、ハーモニーの美しさを感じ取る。</li> <li>世界の民族音楽及びポピュラー音楽について学習する。</li> <li>コードネームについて学び、伴奏付けや創作の技能を身に付ける。</li> </ul>		
評価規準	関心・意欲・態度	表現の創意工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	音楽や音楽文化についての理解を一層深め、感性を磨き、個性豊かな歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に取り組もうとしている。	楽曲の表現内容を総合的に理解しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもってしている。	個性豊かな音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、個性的、創造的に表している。	音楽の構造上の特徴とその音楽の美しさや価値とのかかわりを総合的に理解して、創造的に味わっている。
評価方法	「関心・意欲・態度」「表現の創意工夫」「表現の技能」「鑑賞の能力」の観点別評価規準をもとに、定期考査、実技テスト、授業態度、課題・提出物を総合的に判断して評価する。			
その他				